News of the forest

岐阜県の森林・林業

森林のたより

「恵みの森づくりコンソーシアム presents
森あそび・森まなび」を開催!

No.774
2018 March
3

FREE
ご自由に お持ちください。

●恵みの森づくりコンソーシアム presents 森あそび・森まなび」開催の様子
会場には、たくさんの家族が訪れ、森や木にふれ、森とつながり、人とつながりました。（詳しくはP６参照）

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会
E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp
http://www.g-forestry.or.jp （公社）岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

森林・林業関係イベントカレンダー（3月～5月）

一般向け

開催日	行事名等	内　容　等 （概要、定員、受講料、申込期限など）	開催場所 問い合わせ先
3月1日㈭～ 5月31日㈭	**緑の募金（春期）**	●「植える緑化」から「使う緑化」へをスローガンに家庭募金、企業募金、職場募金などを実施します。 ●4月7日（土）に「道三まつり」の会場で、「ミス日本みどりの女神」も参加して街頭募金を行います。	街頭募金： 岐阜市若宮町五丁目 公益社団法人 岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577
3月5日㈪	**平成29年度 森林文化アカデミー 卒業式**	●内容：第16期生の卒業式を行います。 ●時間：10：00～ ●参加料：不要 ●出席予定者：森林文化アカデミー教職員、在校生、卒業生、招待者、卒業生の関係者	森林文化アカデミー 森の情報センター （美濃市曽代88） 森林文化アカデミー TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529 E-mail info@forest.ac.jp URL http://www.forest.ac.jp/

岐阜県の森林・林業
News of the forest
森林のたより
No.774
2018 March
3

表紙●「恵みの森づくりコンソーシアム presents 森あそび・森まなび」を開催!

目次 Contens

イベントカレンダー（一般向け）……2
100年の森林づくり計画（森林配置計画）の策定に係る地域検討会開催状況について……3
「100年先の森林づくり」の小冊子を作成しました……3
山の歳時記(151) 輪かんじきⅡ……4
東京オリ・パラ大会関連施設での県産木材利用促進について……5
新たな「ぎふの木づかい施設」を認定しました……5
恵みの森づくりコンソーシアム presents 森あそび・森まなび を開催！……6
岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムによる知事へ要望活動 ― 林業・木材関連産業を岐阜県の成長産業とするために ―……6
「岐阜県みどりの少年団活動発表大会」を開催しました……7
平成29年度 岐阜県緑化運動ポスターコンクール入賞作品が決定しました！……7
森の名手・名人シリーズ(45) 私と彫刻 ― 欄間にかける想い ―……8
わがまちの森林・環境行政(15) 関ケ原町の森林づくり……10
シリーズ：『森林・環境税』で"緑豊かな清流の国ぎふづくり!(10)……11
森林と人を活かす知恵(63) 森と人をつなぐ国際工芸イベント「さじフェス」開催！……12
木の香るぎふの施設(61) NPOぎふ村健康増進センター……13
山のおじゃまむし(320) ―里帰りして卵を産む、ルリタテハ― ……14
研究コーナー シイタケの変色する仕組みを理解して、品質保持技術の開発に役立てる……15
普及コーナー 揖斐地域における主伐再造林の取組みについて……16
国有林の現場から(18) ドローンの活用について……18
岐阜県山火事予防運動実施中……19
野鳥のヒナを拾わないで！……19
平成29年度全国治山・林道コンクール……20
平成29年度山地災害防止標語及び写真コンクールの表彰……21
伐採及び伐採後の造林の届出制度のお知らせ……21
林業者向けお知らせ……22
市況……22

100年の森林づくり計画（森林配置計画）の策定に係る地域検討会開催状況について

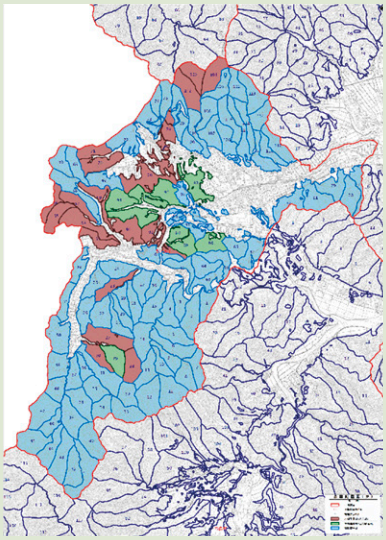
今年度から「第３期岐阜県森林づくり基本計画」がスタートし、望ましい森林配置への誘導や人工林の齢級構成の平準化を目指す「100年先の森林づくり」に取り組んでいます。

100年先の森林づくりの基盤となる「100年の森林づくり計画（森林配置計画）」の策定にあたっては、市町村ごとに関係者の意見を十分踏まえたうえで策定することとしており、今年度は、1月末までに森林の所在する県内全34市町村において、延べ72回の地域検討会が開催されました。

来年度以降も地域検討会での議論を継続し、第３期岐阜県森林づくり基本計画の最終年度である平成33年度末までに、県内すべての民有林を「木材生産林」または「環境保全林」に設定することとしています。

「100年先の森林づくり」の取り組みについて、引き続きみなさまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

県内で最初に開催された御嵩町の地域検討会開催状況



策定された関ケ原町の森林配置計画

【林政課 100年の森づくり推進室　倉田 祥彦】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3025)

「100年先の森林づくり」の小冊子を作成しました

今年度から取り組みが始まった「100年先の森林づくり」について、分かりやすくまとめた小冊子「100年先の森林づくり　～ミナモと一緒に考えよう～」を作成しました。この小冊子は、県が実施する「緑と水の子ども会議」の実施校に配布するとともに、市町村及び農林事務所等へも配布を行う予定です。

小学校高学年の児童を主な対象に作成しましたが、写真やイラストを多用するとともに、クイズ形式でミナモと一緒に考える形式となっているため、小学校低学年の児童でも理解できる内容となっています。岐阜県の森林の現状や課題についても紹介しているため、是非ご家族の方たちと一緒に学んでいただきたいと思います。

作成した小冊子

【林政課 100年の森づくり推進室　川口 晋平】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3027)

山の歳時記 151

YAMA NO SAIJIKI

輪かんじきⅡ

文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

前回に引き続きカンジキの話をします。

カンジキを使う地域は北海道から山陰地方まであり、縄文時代の是川中居遺跡（青森県八戸市）からは漆塗りの櫛や樹皮製の容器とともに、つる製のカンジキらしきものが出土しています。

日本のカンジキを形態的に見ると、①1本の素材を曲げてつくる円形・楕円形・ヒョウタン型の「単輪（たんりん）型」、②2本のU字型の素材を組み合わせた楕円形の「複輪（ふくりん）型」、③木または割竹を横に並べて、すだれのようにした「すだれ編型・板状型」の3つに分けられます。

厳密には積雪量や雪質、使用目的によって形やつくりは異なりますが、民俗学調査によると、本州ではネマガリダケの3年ものなどを曲げた単輪型を基本とし、単輪型の東限は新潟県～福島県の線とされ、複輪型の西限は滋賀県～岐阜県とされます。

新潟県を例にとると、積雪の少ない新潟市などは水田と共用できる「すだれ編型」のカンジキが使われ、雪深い魚沼地方などでは雪踏み用に横幅が50～60㎝もある大型のスカリやゴカリという「単輪型」カンジキが利用されました。更に山奥の豪雪地帯ではスカリの上に小型のカンジキを二重に履いて利用しました。

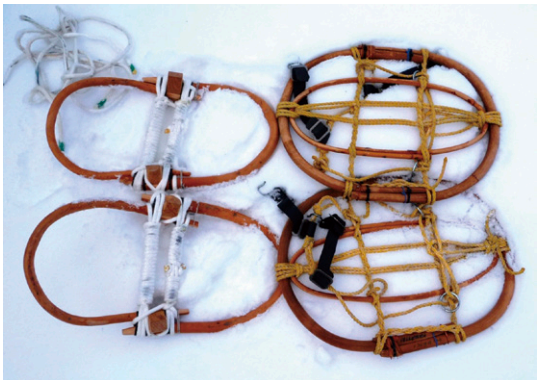
北海道では複輪型のカンジキが主流で、新潟県の山間部から開拓入植した人々も単輪型よりも複輪型を使用していたそうです。

アイヌの人々は狩猟に出かける時、冬季の新雪のような軟雪用にはサルナシのつるをひょうたん型にし、横に木もしくは縄を6本渡したテシマというカンジキを使いました。また、春季の堅雪用にはヤマグワの割り木などを馬蹄型などにしたチンルというカンジキを使いました。

更に、堅雪が凍った場合は、カンジキの下に木製の爪やエゾシカの角をつけ、傾斜地を歩く専用のものは、前部を上に反りかえした形として歩きやすくしました。

ここで輪カンジキの材料について見ると、基本的に入手し易く、粘りのある樹種が使われています。全国的にはクロモジやマンサク、マユミ、グミ、ヤマボウシ、クマヤナギ、アブラチャン、オオカメノキ、リョウブ、ネマガリダケが使われ、北海道ではサルナシやヤマグワ、イタヤカエデ、秋田県などではサルナシ、新潟県や長野県ではトネリコなどが使われました。

さて私のカンジキはクロモジでできた登山や狩猟用のものと、クマヤナギとネマガリダケでできた平原用、雪降ろし用のものですが、今では昔を語る一品になってしまいました。



▲左が登山用、右が雪降ろし・平原用

東京オリ・パラ大会関連施設での県産木材利用促進について

県では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「大会」という）の関連施設において県産材を活用してもらうため、大会関連団体への働きかけ等を行っているところですが、昨年９月、選手村ビレッジプラザ（選手等が利用する飲食や物販等の施設）への木材提供の事業協力者に、岐阜県と６市町村（関市・中津川市・郡上市・下呂市・白川町・東白川村）が選定され、11月24日には、東京において大会組織委員会による感謝状贈呈式が開かれ、森会長から知事及び６市町村代表者が直接感謝状を受領しました。

また、県では「県産材競争力強化販路拡大支援事業」により、大会に向けた新製品開発や試作品作成等へ支援していますが、今回この事業を活用して、中津川市のケーエム産業㈱が、空手会場等の競技用マットの土台に県産ヒノキ材（中津川市産材）を利用した製品見本を作成し、本年1月19日にその披露式を開催しました。式では、西濃運輸㈱空手道部の選手等による模範演武も行われ、選手からは「気持ちよく演じられた」との感想もいただきました。

県としては、このような製品の採用に向け今後も積極的にＰＲ活動等を行っていきます。

【県産材流通課　二木】

【知事･森会長】

【県･6市町村】

新たな「ぎふの木づかい施設」を認定しました

県は、岐阜県産材を使用し先進的なデザインを取り入れた施設や木の良さを感じることのできる「ぎふの木づかい施設」を新たに認定しました。

「ぎふの木づかい施設」とは、第３９回全国育樹祭を契機に、木の良さや県産材を利用することの公益的な意義を広く県民にＰＲするため、岐阜県産材を使用し先進的なデザインを取り入れた施設や木の良さを感じることのできるとして認定される施設で、平成２７年度から開始しました。

今回は、有識者・関係者からの意見等も踏まえ、ぎふの木を随所に巧みに散りばめた意匠性の高いロールモデルとなる計１０施設を認定しました。

今後も、県はあらゆる施策、広報、プロモーション活動などを通じて、県産材の利用拡大を図ってまいります。

施設名	施設管理者	業　種	ぎふ証明材使用量（㎥）	住所
ひよし幼稚園	学校法人小島学園	幼稚園	16.9	各務原市那加新田町１－７８、８０－１
新和建設　各務原展示場	(株)新和建設	展示場	42.3	各務原市蘇原青雲町３－４１－１
池辺保育園	社会福祉法人池辺育心会	保育所	3.2	養老郡養老町瑞穂１３０－３
関市立南ヶ丘保育園	関市	福祉施設	22.6	関市倉知２９１６－２１
ほほえみ栄町	社会福祉法人桜友会	福祉施設	137.7	関市栄町２－８－１
郡上八幡南部コミュニティ消防センター	郡上市	社会教育施設	50.2	郡上市八幡町大正町４７
川辺町おおぞら教室	川辺町	児童福祉施設	77.4	加茂郡川辺町中川辺１５３７－１
東濃信用金庫　白川支店	東濃信用金庫	金融機関	—	加茂郡白川町河岐１７３３－３
飛騨市立さくら保育園	飛騨市	保育園	387.3	飛騨市古川町杉崎５５３－１
龍華保育園	社会福祉法人石浦龍華会	保育園	22.3	高山市石浦町７－３４５

※詳細は県ＨＰ 岐阜県　ぎふの木づかい施設 検索 で検索ください。

【県産材流通課　富田 清一郎】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8487 県産材流通課まで

恵みの森づくりコンソーシアム presents 森あそび・森まなびを開催！

恵みの森づくりコンソーシアムは、森、木、環境や商工業等の様々な業種の企業や団体、個人で構成され、美しい森林を次世代に残すため、森林の望ましい姿、活用方法等について考え実践している組織です。

この度、1月14日(日)に、岐阜駅前のじゅうろくプラザ（岐阜市）にて、「恵みの森づくりコンソーシアム presents 森あそび・森まなび」を開催しました。

参加者らに、県産ヒノキの丸太切りや、自分で輪切りした木を使ったお皿やキーホルダーづくりなど、森づくりから森の恵みを生かす体験をしていただきました。その他、会員による、圧縮木材の実験、アロマオイル（森の香り）のハンドマッサージ、木製品や取組の紹介などが行われ、森の恵みについて知って、あそんで、学んでいただく内容となり、多くの来場者でにぎわいました。

また、特別講演会では、作家で環境保護活動家のC. W. ニコルさんに、「恵みの森に感謝して生きる」と題して講演いただき、恵みの森に感謝することの大切さを改めて感じていただけたものと思います。

当会では会員を募集しております。お問い合わせは、事務局（県恵みの森づくり推進課）まで。

C.W.ニコルさんによる講演

会員による取組紹介

【恵みの森づくり推進課　福井　樹】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(3034) 恵みの森づくり推進課まで

岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムによる知事へ要望活動
― 林業・木材関連産業を岐阜県の成長産業とするために ―

去る12月19日（火）、岐阜県庁において、岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム（以下、コンソーシアム）が、岐阜県知事に対して要望活動を実施しました。

岐阜県議会林業活性化促進議員連盟会長の早川捷也県議会議員の挨拶の後、コンソーシアムの涌井史郎理事長から知事へ要望書が手渡され、各分野を代表してコンソーシアムの会員である林業関連５団体の会長から、下記の項目について要望内容の説明が行われました。

古田知事からは、「人材育成、森林整備、木材産業の振興まで、問題意識はほぼ同じ。財源をいかに振り分けるか知恵を絞りたい」とコメントをいただきました。

■提案・要望項目

❶人材の育成と活用
- 市町村の林業行政への支援強化
- 担い手育成に関する予算の確保
- 人づくりを担う「木のふれあい館（仮称）」の整備

❷森林整備及び木材生産の推進
- ニホンジカ等による森林被害防止の総合的な対策の充実
- 間伐・主伐・再造林の推進
- 木材生産の効率化

❸木材産業の活性化
- 木材の安定供給及び、製材工場の体制強化
- 多様な分野への木材利用の推進
- 新製品・新技術の開発促進

【岐阜県森林技術開発･普及コンソーシアム事務局（岐阜県立森林文化アカデミー 森林技術開発･支援センター 産学官連携係）】

●詳しい内容を知りたい方は TEL 0575-35-2535 森林技術開発･支援センターまで

「岐阜県みどりの少年団活動発表大会」を開催しました

平成30年1月20日(土)に岐阜県博物館において、県及び公益社団法人岐阜県緑化推進委員会の主催による「平成29年度岐阜県みどりの少年団活動発表大会」を開催し、４団のみどりの少年団が参加して、日頃の森林づくり活動、地域での奉仕活動、学校林の保全活動など、1年間の活動成果について、元気よく発表してくれました。

審査の結果、長島小学校みどりの少年団が最優秀に選ばれました。発表内容は、学校林で森の健康診断による間伐をみんなで行い、その結果を学校新聞にまとめるなどで、一連の活動を的確に行ったことが評価され、今後の活動が大いに期待されるものでした。

みどりの少年団の皆さんには、森林や緑を愛し、守り、育てる心を大切に、地域の絆を深め、団員みんなの力を合わせて活動を楽しんでいってほしいと思います。

この発表大会は、来年度以降も開催する予定ですので、みどりの少年団の皆様の参加を期待しています。

各少年団の発表状況

谷汲小学校みどりの少年団
（揖斐川町）

長島小学校みどりの少年団
（恵那市）

上原小学校みどりの少年団
（下呂市）

海津市立城南中学校
（海津市）

平成29年度 岐阜県緑化運動ポスターコンクール 入賞作品が決定しました！

県では、緑化の意義などを普及啓発するため、昭和５８年度より県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童、生徒を対象に「岐阜県緑化運動ポスターコンクール（後援:岐阜県教育委員会､公益社団法人岐阜県緑化推進委員会)」を実施しています。

平成２９年度は、県内９６校から６７４点の応募があり、審査の結果、入賞作品４０点が決定しました。

■最優秀

小学校・低学年の部

小川 遥叶さん
安八町立結小学校1年

小学校・高学年の部

近勢 こころさん
富加町立富加小学校6年

中学校の部

日比 はるひさん
大垣市立北中学校3年

高等学校の部

林　純那さん
岐阜県立多治見工業高等学校2年

【恵みの森づくり推進課　森　孝博】●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線（3026）恵みの森づくり推進課まで

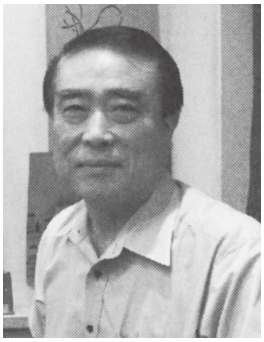
森の名手・名人シリーズ 45

名人 浅野 貞夫（69）
岐阜県岐阜市

聞き手 森 愛恵
岐阜県立加茂農林高等学校2年
平成26年取材

「森の名手・名人」とは、森に関わる仕事や地域生活に染み込んだ営みのうち、優れた技をもってその業を極め、他の模範となっている達人で、毎年、全国で約100名が認定されています。岐阜県においては、現在、50名の「森の名手・名人」が認定されています。

この「森の名手・名人」を「森の"聞き書き甲子園"」に参加した高校生が「聞き書き取材」をしたものの中から誌面の関係上要点を抜粋したものです。なお、年齢、住所、学年は取材当時のものです。



彫刻師 私と彫刻 ―欄間にかける想い―

1. 欄間

欄間というのは、ふすまの上にあって部屋と部屋の空気も通うし、見て癒されたり、見て楽しむってこともできる。欄間の種類は、私の得意としとる「象嵌（ぞうがん）欄間」と、彫るのが難しい「透かし欄間」、それと普通に彫る「彫刻欄間」があって、風景を彫るのが多いですね、滋賀県の「近江八景」とか。彫刻欄間は明るい部屋で見ると彫刻が浮き出てよく見えて、透かし欄間はね、隣の部屋の電気をつけるとその柄が浮いて出てくるの。その雰囲気が2つとも違って良いよ。

私の彫刻はほとんど着色しないから、店に切り端揃えて出してあるけど何もやってないです。色をつけるにしても透明です。自然な木を見てもらう。そういうのが多いです。

岐阜県の笠松の馬をイメージして作った彫刻欄間

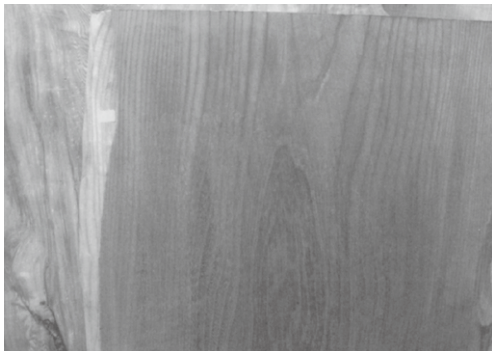
2. 彫刻刀

彫刻刀は主に、切り出しとか丸のみ、三角刀を使います。切り出しは、切った小口を削ったりするのに使う。丸のみは、丸いとこをとったりするのが特徴で、三角刀は材木で作ったマツの葉を刻んだりするのに使うね。ちっちゃいものを作るときは道具もちっちゃくなるよ。形や大きさが変わるだけで基本は3種類。私は100本ぐらい彫刻刀をもっとる。普段はそんなに使わないけどね、込み入ったものを作るときにほしいから。

3. 欄間に使う木

欄間に使う木は大体、スギが多いんです。木目がすごく綺麗に見えるからね。スギでも樹齢がね、200年、300年のもんが良くて、普通に生えとるスギやなくて銘木が良い。でも冬目が堅いからなかなか彫りにくい。

今はね、ほとんど切ってしまってなかなか出てこないんだけど、秋田スギって言ったら銘木中の銘木。スギの中で1番高級なのは屋久スギやね。世界遺産になってて切れないけど、普通のスギと樹齢が全然違う。1000年以上たたんと屋久スギとは言わん。それとね、神代スギ。主に東北でとれるんだけど、昔の震災やなんかで土の中に埋まった石炭になる寸前の木ね。それを掘りだして使うの。神代スギは製材で切って時間がたつと黒くなってくるんよ。



左側の木が屋久スギ、右側が神代スギ。色が全然違う

4. 欄間を作る

最初は、自分で丸太を買ってきたり製材で切ってもらって、欄間を作るのにどういった板が良いかっていう選別やね。それから機械にかけて板を削ったり、注文の厚さに切って加工する。

下絵を描くには、チョークで下絵の輪郭をとって、色鉛筆で段々絵の形をとる。そんで、いらないところを切ってとれるようにする。そうしないと、木と木のつながりとか絵と絵のつながりが分からなくなるからね。そして彫り始める。

板を彫ってまってからでも、まんだ周りの縁を作らんならん。それを彫ってから、最後に磨きをかけて完成。

欄間には、並と並彫り、上彫りと特上とあって、それによって絵も、描き方と完成までの時間も違う。板の厚みにもよるけど、松竹梅とか細かい柄は彫るのに時間がかかる。予算にもよるしね。

5. 欄間彫り

欄間にはめ込む「象嵌」っていうのがあるんやけど、1枚の板に彫るんじゃなくて別の板をはめ込んで、裏から見ても表から見ても同じような柄になる欄間。1枚の板に部分的な彫刻をしてからくり抜いて、別の木材をはめ込む。大きいものはね、板の長さが2mで、幅が1mの1枚板にいろんな柄をはめ込むの。象嵌はなかなか難しい。いろんな柄をはめ込もうと思うとある程度の技術がないと入らない。そういうのを私は得意としてます。

私のオリジナルを新しい柄で作ったの。それは自分でも自慢できる欄間で、裏と表を違う柄で彫ったの。絵巻からとった柄だったから巻物の形にしたような縁にして、表は武士と殿様が狩りをしていて、お城の中で料理作っとるとことかね、裏は富士山。作ったのは20年前か30年前ぐらいになるかもしれん。それはね、キリの木で彫ったんです。普通の欄間は空気が通る穴が開いてるんやけど穴を開けずに彫った。貫通させて、いらないところは取った方

が楽なんだけどね。

欄間の中では透かし欄間が難しい。直線とか筋で風景とか動物を表さんならんでね。普通に彫るよりも透かし彫りの方が正確さが大切。まっすぐな直線でも機械やなくて手でやろうと思うと、ちょっとでも曲がったらまっすぐに見えないから。あとね、技も難しい。尖った長い彫刻刀でくり抜いたり綺麗に削ったりするから。簡単なようで難しいよ。

私が彫刻師になったときは彫刻欄間ばっかやってたんだけど、後になってくると象嵌欄間とか透かし欄間が時代によって多くなってきたね。昔もあったやろうけど、そんなに多くなかったと思う。

名人の名刺。
木でできていてかっこいい！

6. 欄間が抱く問題

昔は毎日欄間を彫ってた。休みなんてほとんどなかったでね。欄間だけを持ち歩く業者がいてね、欄間だけで生活できとった。その頃は建て売りとかどんな家でも欄間がほとんど入る時代だったから。良い家になってくると「うちはこういうすごい欄間を入れた」とか自慢にしてね…。今、欄間を入れるような家は建ってないし、阪神の地震から建築がガラッと変わっちゃって。ほんで、耐震耐震で日本の家屋の良さがかなり消えてしまって。政府の方も耐震ばっかり。今までね、大工さんに頼んでいたこともう今はやってくれる人がいなくて全部自分でやってる。今は欄間だけでやっとったら廃業やわね。

7. 欄間以外の彫り物

お寺関係になるんやけど、「虹梁（こうりょう）」とかね、お客さんに頼まれるとテーブルを作ったり。昨年は学習机を頼まれたね。椅子なんかはね、調節できるように作らしてもらった。表札も彫るよ。看板もお菓子屋さんとか、そういうのは2週間や3週間でできます。あとは、彫刻教室の教材のもとを作ってあげてるんです。姿見の鏡の横のバラとかを下書きとか描いて彫るばっかりにしてあげるの。大量生産はできないけど…。大きい彫り物になると手で持てないようなものも扱うこともあるし、小さいものはほんとにちっちゃいよ。

田舎に行くと1枚板の戸があるんだけど、それに松と梅、菊と蘭を彫ったんです。4枚セットで。そういう大きいものに彫ったことが印象深いです。

名人が作った表札

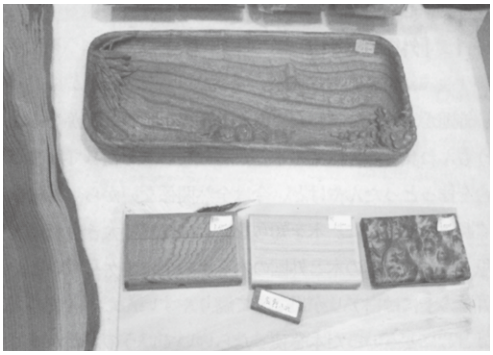
名人が作った小物入れ

8. 彫刻師として

仕上がった作品の中には気に入らないものもあって100％満足できるものはなかなかできないんだけど、満足のいくものができたときの達成感というのが良いよね。私らのやることは溶けて消えるもんはなんもない。後にも全部残ってくるから、いい加減なことはできない。

周りから左右されず、自分で思うようにできるのが良い。いつもやってる手慣れたものより初めて手掛けるものがあるときは、迷って眠れないこともあるんだけど、布団の中である程度完成させる構図を描くんです。想像の中でね、いろんなやり方をやってみてイメージを作ってそれからかかるんですけどね。そのイメージと合わないことは結構あるけど…。

うちらは納期が早いことが一番苦労するね。それまでに間に合わせんならんからいくつも抱えていると厳しい。


名人が作った名刺入れ

木材を彫るには力が必要！

9. 危機！！！！

昔、欄間を彫っとった間は他のことはやってなかった。ここまで少なくなるとは思ってなかったなぁ。今は家屋が変わってまったで他のものばっかり彫ってる。やっぱ残していかなきゃいかんのやけどね。日本の良いとことか知ってる人が少なくなってきてもったいない。うちが色々やってもらってた大工さんも高齢になったり亡くなったりして、良い技術もってる人がね、仕事ができなくなってるから。僕もね、親父じゃなくて自分から始めた仕事だから息子に押しつけることはしない。途中でやってみたいとか言われても1年や2年でできることやないし、僕がやってきたことがすぐできれば誰でもなれるんやけど…。難しいよね。

日本の良さはいっぱい家に詰まってたんだけど、みーんななくなってくもんね。若い人がそれを望むんやしね。たまに和室が好きって人もみえるけど、10分の1よりも少ないかもしれんねぇ。

名人 浅野（あさの） 貞夫（さだお）さんのプロフィール

- ●生年月日：昭和20年8月26日生まれ
- ●職業：彫刻師

23歳から彫刻に携わり、26歳の時に「浅野彫刻」を設立。以後、銘木（秋田杉、屋久杉、神代杉、イチイ等）を活用し、欄間、社寺彫刻、家紋、看板彫刻などの彫刻品の製作や修繕を行っている。近年は、彫刻教室の教材、机、椅子、小物入れなどの木製品の製作も行うとともに、若い人の指導にも力を入れ、技術の継承に細心している。

また、出身地の本巣市根尾大河原地区の自治会長や保存会の会長として、神社の清掃、祭りの開催、人家の雪囲いなど集落の保全・保存に尽力されている。

※原本は長文のため、文章の一部を割愛しています。

【森の名手・名人編集担当
公益社団法人
岐阜県緑化推進委員会　専務理事　黒﨑隆司】

わがまちの森林・環境行政 15

関ケ原町の森林づくり

関ケ原町の森林づくり施策を紹介します。

森林の概要

関ケ原町は岐阜県の西端にあり、滋賀県との県境に位置しています。また、中京圏と関西圏の中間点にあり、北からは伊吹山、南からは養老山脈が迫るという地形にあり、町の総面積が4，929haであるのに対し、そのうち森林面積が3，802haで総面積の約77％を占めています。森林の大部分はスギ、ヒノキを主とした人工林であり、人工林面積は2，380haで公社造林等の分収造林地をはじめ、町有林等の森林整備の推進により、人工林率は約63％と高い水準となっています。特に町の西南部に位置している今須地区においては百有余年の歴史を持ち、全国でも希な人工更新で成立した択伐林があります。

今後の課題として、町全域にわたり水源涵養、山地災害防止機能を有する地域がほとんどであるため、浸透・保水能力の高い森林土壌の維持及び下層植生の良好な発達が確保でき、土砂流出防止や森林の公益的機能の向上を図るための複層林施業、天然林の育成施業など、環境に配慮した施業推進を行うと共に、林道網の整備により木材等の生産機能を発揮できる森林づくりが必要と考えています。

また、地域住民に対しても公益的機能を有する森林の維持管理に対しての意識の高揚を図り、各活動を通じて山づくりの大切さ、必要性を行政が主体となって啓発することを続けていかなければならないと考えています。

▲今須地区の択伐林

森林・林業・木材生産の推進

本町の林業は木材生産機能を中心とした拡大造林に努めてきましたが、長引く林業不況と経済流通機構の変化による木材価格の低迷などにより、地域住民の山づくりに対する意欲が薄らいでおり、また林業技術者の担い手・後継者不足により森林整備が行き届かない状況になっています。この様な事態を打開し、町内林業の活性化、森林整備の見直しを推進すべく若手林業者で組織される「今須プロジェクトチーム」を結成し、森林・林産物の利活用、今須地区の地域振興に各種の活動を通じて取り組んでいます。また、関ケ原町産直住宅建築組合や西南濃森林組合とも各種の事業を通じて相互協力し、地域一丸となって林業の活性化に取り組んでいます。

しかしながら、国産木材の見直しという久々の明るい話題がほんの少しある中、需要の減少、価格の下落の傾向は引き続いており、製材業を取り巻く環境は厳しい状況にあることは変わりありません。山地災害防備、環境保全、地域資源供給の地としての森林を維持するためにも、木材需要の拡大は急務であり、次々と新たな施策を講じ、地域住民自らの手で展開していかなければならないと考えています。

▲今須プロジェクトチームのメンバー

森林づくり活動・施策の紹介

本町の特色ある取り組みを紹介します。

①「学ぼう!!関ケ原の森林づくり」

毎年8月中旬に開催される町内小学校4～6年生を対象とした森林学習事業で、今須の森林で枝打ちや丸太の皮むき体験をしたり、丸太切り競争や木工クラフトづくりを行っています。

▲木工教室の様子

▲丸太切り競争の様子

②「今須スギPR事業」

平成28年に、町内の農林業者の有志で組織された「今須プロジェクトチーム」が発足。地元関ケ原町の他、東名阪の都市を回り地元木材の販売拡大に向けたPRイベントを実施しています。自分たちで今須杉を使ったノベルティや商品の開発からイベント企画も行い、地元の新聞や情報誌、TVなどの各種メディアへの出演PRも頑張っています。

▲今須杉のPRイベントの様子

▲今須杉を使った武将家紋シール

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0584-43-1111(代)
関ケ原町役場産業建設課林務係まで

シリーズ

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

10

平成24年度より県民みんなで豊かな自然環境を守る仕組みとして導入した「清流の国ぎふ森林・環境税」は、平成33年度末まで5年間延長されました。税活用事業の内容も見直しをしましたので、新しい内容の事業を含め連載で紹介します。

緑と木と水の環境教育推進事業

清流の国ぎふが誇る「木と共生する文化」を次世代につないでいくことを目的に「ぎふ木育30年ビジョン」に基づき、ぎふ木育を推進しています。

1 ぎふ木育教室

保育園、幼稚園、子育て支援センターなどに講師を派遣し、森や木にふれあい、楽しむ体験講座の実施。平成29年度は50施設で実施しました。

野遊びウォーク

木のカスタネットづくり

2 緑と水の子ども会議

小中学校、高等学校、特別支援学校の授業における地域の自然に関わる体験活動を通した学習の支援。平成29年度は67校で実施しました。

森林調査（木のことを知ろう）

間伐体験

3 ぎふ木育キャラバンの開催・常設版「ぎふ木育ひろば」の設置

赤ちゃんから年配の方まで、一緒に木のおもちゃで遊び、木に親しむ「ぎふ木育キャラバン」の開催や、いつでも、だれでも、ぎふ木育を体験できる「ぎふ木育ひろば」を設置しました。

ぎふ木育キャラバン

ぎふ木育ひろば

【恵みの森づくり推進課　河合 高志】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8473 恵みの森づくり推進課まで

森林と人を活かす知恵 63

森と人をつなぐ国際工芸イベント「さじフェス」開催！

岐阜県立森林文化アカデミー　准教授●久津輪 雅

「この木はここで幹が折れ、脇芽が育って新しい幹になってるよね。この曲がりを生かしてスプーンを作るんだ」

森林文化アカデミーの森の中で大勢の参加者を前に説明する、スウェーデンの木工家ヨゲ・スンクヴィストさん。昨年10月に開かれた「さじフェス～木の匙と杓子の祭典～」での一コマです。

いま、生木を削ってスプーンを作るのが世界的にブームなのです。イギリス、アメリカ、スウェーデン、オーストラリアで「スプーンフェス」などと呼ばれるイベントが開かれ、数百人の人が会場に集い、身近な森の木からスプーンづくりを楽しんでいます。このブームは2000年頃から急速に広がってきたとのこと。人々が暮らし方や自然との関わり方を見直そうとする意識が高まり、その象徴として普段使いの生活道具、木のスプーンを作るのです。さじフェスの開催は、日本にもそんなムーブメントを起こすのが狙いです。ヨゲさんは生木のスプーンづくりの第一人者で、世界的に有名な木工家。おかげで受付開始からあっという間に定員が埋まり、3日間でのべ140人の参加者が日本全国から集まりました。

もう一つ目的があります。日本でも昔から、里山のさまざまな木を用いて暮らしの道具を作る文化がありました。木杓子はその代表例です。そこで日本からも木杓子職人を講師に招き、日本の文化を改めて学ぶことにしたのです。高山市の有道杓子（うとうしゃくし）は、かつて農民たちが農閑期に限られた道具で作っていたもの。何と調理用の出刃包丁で、生のホオノキを削るのです。実演には、ヨゲさんも日本人参加者たちも興味津々でした。また会場には、ありとあらゆる「雑木」を製材している三重県の武田製材の協力で、89種類もの国産材のブロックを展示販売するコーナーも設けました。身近な果樹のミカン、リンゴ、ウメなどの木や、日本で一番重いイスノキ、名前が珍しいバクチノキなどが特に人気で、大勢の参加者が木のブロックを買い求めていました。日本の森の豊かさに触れ、木を削る楽しみを満喫する3日間になったと思います。

このような生木の木工をグリーンウッドワークと呼び、森林文化アカデミーでは10年以上にわたり普及に力を入れてきました。特に、世界で同時代を生きる人たちと横につながり、日本の豊かな文化を遡って縦につながる、2つの視点を大切にしています。これからも面白い講座やイベントを企画しますのでお楽しみに！3月にはアメリカの木工家がやってきますよ！

▲参加者全員でスプーンを掲げて「ハイ、スプーン!」

▲カラフルでポップなヨゲさんのスプーン

▲森のなかで説明するヨゲ・スンクヴィストさん

●詳しい内容を知りたい方は　TEL（0575）35-2525　県立森林文化アカデミー まで

木の香る
ぎふの施設
61

木造化

NPOぎふ村健康増進センター

岐阜県中津川市茄子川字中畑112番地163

施設全景

施設概要

事業年度	平成27年度
事業主体	特定非営利活動法人 ぎふ村
構造・延床面積	木造　1階建て 延床面積　992.04㎡
施設用途	社会福祉施設（高齢者健康増進施設）
木材使用量 使用樹種	県産材使用量：243㎥（県産材使用率96%） 主な使用樹種：ヒノキ、スギ
全体事業費	248,740千円
助成額	木の香る快適な教育施設等整備事業 16,524千円
設計者	SAN設計室
施工業者	大井建設株式会社
工期	平成27年9月～平成28年5月

デイルーム
広々とした空間が
特徴です。

スロープ
格子壁が特徴です。

施設の経緯

「NPOぎふ村健康増進センター」は、平成28年6月に開設しました。50歳以上の方を対象とし、温泉利用のリハビリ訓練、介護予防、認知症予防のプログラムを実施しており、利用者の「健康寿命」を支援する施設です。

平成28年10月に「ぎふの木づかい施設」に認定され、平成29年2月には、「厚生労働大臣認定温泉利用プログラム型高齢者健康増進施設」として認可されました。

多目的ロビー
交流・休憩等様々な用途に使用できます。

訓練室
天井は、梁・桁が
見えるように
なっています。

ここに注目!!

- 広々とした空間に明るい陽射しが差し込み、施設全体に使われているヒノキの香りと温もりが心を和ませてくれます。

利用者の様子

- 施設に入った瞬間に木の香りがし、リラックスでき、温かみを感じると言っていただけています。

■問い合わせ先
特定非営利活動法人 ぎふ村
TEL 0573-68-5211

山のおじゃまむし

ー 里帰りして卵を産む、ルリタテハ ー【第320回】

自然学総合研究所　野平 照雄 ● *Teruo Nohira*

今年（平成30年）は、このシリーズを書き始めてから27年になる。自分ながらよく続いたものだと思う。振り返れば当時は40代で現役のバリバリ。ネタは豊富。あっという間に完成。書くのが楽しかった。それが今は後期高齢者の一歩手前。体力の低下、ネタ不足、鈍くなった頭。それに気力の萎えなどで、筆を持つ手が重い。締め切り日だけがあっという間にきてしまう。この繰り返しで重圧の日々。そろそろ引退。私の弱い心が頭を持ち上げてくることがある。そこで、考えたのが原稿の貯金。ネタが見つかればすぐに書いて貯めておき、これを締め切り日に出すことにしたのである。初めはきつかったが、これをやり出したら、少し楽になった。ところが本誌は月1回の発行。原稿の書き貯めは、夏に載せる原稿が冬になることもある。筆者としては時季に見合った原稿を載せたいのだが、今の私には無理。この事情を察し、時季外れの原稿が載ることをご理解いただきたい。これが気になっていたので、原稿を書くにあたり、お詫びをした次第である。さて、これからが本来の原稿。今年もたくさんの年賀状が届いた。しかし、半数以上は年賀状だけのやりとりで、中には30年以上も会っていない人もいる。当然、当時は私も相手も若かった。その在りし日のことが脳裏に浮かび、懐かしくなる。その一人である岩手県のI氏からの年賀状が心に残った。ルリタテハについて興味あることが記してあったからである。

× × × ×

それではルリタテハとは、どんな蝶であろうか。まずはその紹介。翅の長さは4㎝前後。その翅は黒みがかった紺色で、そこに鮮やかな瑠璃色の帯模様がある大変綺麗な蝶である。成虫は年に2～3回発生し、主に森林やその周辺で生息し、樹液や動物の糞などに集まり水分を吸って生活している。幼虫はサルトリイバラやユリ科の植物の葉を食べているが、体全体が黄白色の棘状突起で覆われているので、多くの人は気味が悪いと言うかも知れない。羽化した成虫は近くの森へと飛び立ち、餌場をさがす。それが見つかると自分の縄張りとし、後はここを定期的に力強く飛び回って見張る。時には侵入者もいる。その時は相手に体当たりするなど攻撃性の強い蝶でもある。時々、地面へ降り翅を広げて休憩する。この姿がすばらしい。瑠璃色の帯が鮮やかに映え、思わずカメラを構えてしまう。また、幼虫はサルトリイバラなどの葉裏でじっとしている。棘だらけの体は不気味というより神秘的で、これにもついカメラを向けてしまう。このように魅力的なチョウなのにマニアにはあまり人気がない。どこにもいる普通のチョウだからである。私もその一人で関心がなかった。

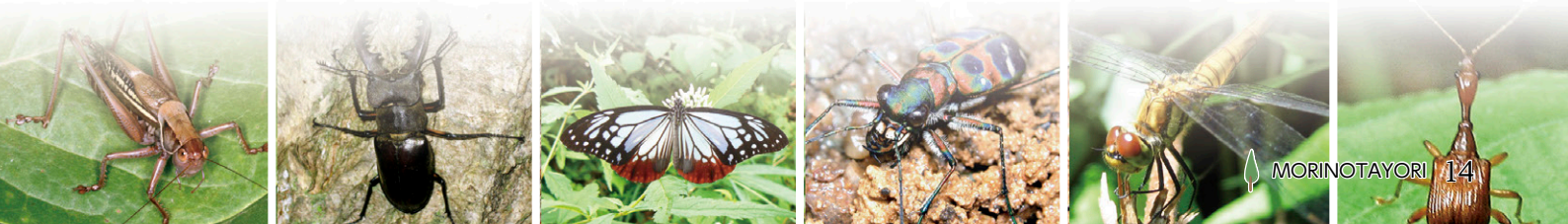
× × × ×

I氏の年賀状には次のようなことが書いてあった。昨年スカシユリの植木鉢に鋭い棘のある不気味な幼虫が何匹もいた。調べたらルリタテハであった。この幼虫に興味が湧き、どのように成長するのか観察しようと植木鉢を室内へ入れた。しかし、翌日に元の場所へ戻した。それは庭で育てば周囲の環境を覚えているので、成虫になってもまた帰ってきて産卵するだろうと思ったからだという。ルリタテハが鮭のように生まれ故郷へ帰ってきて卵を産む。この突飛な発想。以前の私なら笑うだろうが、今はそうではなかった。心当たりがあるからである。数年前、我が家の庭にルリタテハの餌である小さなホトトギスがあった。このホトトギスにルリタテハの幼虫がいた。その後も幼虫は毎年見られ、3年続いた。しかし、四年目にホトトギスは枯れてしまったので、その後は見ることが出来なくなった。この時私は、庭にホトトギスがあったので、これを見つけたルリタテハがまたまた卵を産んだのだろうと思っていた。しかし、I氏の年賀状を見て、「ひょっとしたらあのルリタテハは生まれ故郷の我が家へ帰ってきて卵を産んだのかも知れない。」こんな気がしてきた。

▲不気味な幼虫

× × × ×

ルリタテハは森林やその周辺を飛び回り、樹液を見つけて吸水し、餌となる食草を探して卵を産む。しかし、我が家は住宅街の一角で、空中を舞う広い空間や樹液の出ている木など無い。それが何故わざわざ我が家の庭へ来て、1本しかない小さなホトトギスに卵を産んだのか。しかも3年連続なので考えてしまう。それにもう一つ。私は近くにある伊木山の遊歩道を20年以上歩いている。その時、サルトリイバラにいるルリタテハの幼虫を何度も見ている。それがついているのはほとんど同じサルトリイバラ。少し離れているといないのである。その時は何も思わなかったが、今となるとひょっとしたら、これも里帰りして卵を産んだのかも知れない。こんなことを思ってしまう。これらの結論はわからないが、I氏にはルリタテハの生態というか生き方の仕組みがこのように映ったのだろう。私には笑えることであったが、もしかしたら真実なのかも知れない。こんなことを思ったら急にルリタテハに興味が湧いてきた。その発端となったI氏の年賀状。やはり心に残る。



シイタケの変色する仕組みを理解して、品質保持技術の開発に役立てる

森林研究所●上辻 久敏

シイタケの品質低下問題

岐阜県のキノコ総生産額約28億円の中でシイタケの生産額は約23億円（平成28年）あり、地域経済に貢献する重要な品目です。このシイタケに関して品質保持は重要な課題です。生シイタケの品質が低下し始めると、傘の裏側のヒダや柄の部分が茶色く変色します。この変色は、消費者や市場関係者の視覚的な評価に大きく影響し、市場関係者らは価格にも影響すると考えています。出荷後にシイタケが変色する事例は、全国のシイタケ産地で発生しています。

シイタケの酸化酵素に着目

当研究所では、シイタケの品質保持として、全国で発生している変色の対策技術を開発し、シイタケの商品力を高めることを目指しています。これまでの試験から、シイタケの変色のしやすさが品種ごとに異なり、シイタケ自身が持つ酸化酵素の働きの強さが、変色しやすさに影響している可能性が高いことが分かってきました。この知見をもとに酸化酵素の働きに影響する因子と変色の関係を調べています。

シイタケの酸化酵素が働くためには、酸素が必要です。そこで、密封し酸素の供給を減少させ酸化酵素の働きを抑制できる可能性があることから、シイタケの酸化酵素と変色させない品質保持および密封の関係について研究を進めています。これまでに、シイタケの主要な出荷形態であるラップ包装されたパック商品について、密封することでシイタケの変色を抑制することができる結果が得られてきています。

試験で保存条件を探索

シイタケの変色が出荷初期の初秋に多いとの意見があることから、保存温度を変化させ、比較的温度の高い20℃でも保存試験を行い、密封の効果を試験しました。14日目に通常のパック商品は変色しましたが、20℃でも密封により変色が抑制されることが分かりました（写真1）。

写真1　密封による20℃での品質保持効果（14日目）
（＊左が密封保存、右が無処理）

より品質を保持できる密封条件を探索するため、性質の異なる袋を用いて密封と変色の関係についても試験を行っています。密封すればどんな袋でもよいというわけではなく、同じ密封でも袋の性質が、シイタケの変色に関する品質保持に大きく影響することが分かりました（写真2）。

写真2　密封する袋の性質による品質保持効果の違い
（＊各列ごとに袋の性質が異なる）

初秋には、まだ気温が高いので、パック商品が梱包された段ボール箱を冷蔵の宅配便で出荷しています。

冷蔵の場合1箱単位で冷蔵便の単価をかけて出荷する必要がありますが、常温便であれば、同じ段ボール箱を3個口で、発送することが可能です。品質保持条件で常温便の日数が1日でも増加することが、出荷にかかるコストの低下につながると考えています。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-33-2585
森林研究所まで

揖斐地域における主伐再造林の取組みについて

■揖斐農林事務所 林業課 林業普及指導員　清水　力

はじめに

揖斐地域では100年先の森林づくりのための森林配置計画の策定をはじめ、木材生産性の向上による森林所有者への利益還元の促進、将来の地域の林業を支える意欲と能力のある技術者の育成など森林の適正管理と林業の成長産業化に向けた各課題について林業普及活動を行っています。

このような中、人工林の林齢構成の平準化と本格的な利用期を迎えた森林資源の循環利用を図るため主伐再造林をモデル的に実施し、その成果や課題について検証を行いましたのでご報告します。

皆伐の実施

①事業計画の作成

主伐再造林のプロジェクトを進めるにあたって、揖斐川町、揖斐郡森林組合、揖斐農林事務所の三者が協働し、事業地の選定、事前調査、事業計画の作成を行いました。

事業地の選定は揖斐川町有林の中でも搬出コストを抑えることができる基幹道があり、良質材の生産が期待できる事業地を選定しました。

また、材質区分等の精度を高めるため市場関係者の協力を得て現地調査を行うとともに、作業システムについては当初作業道開設による車両系集材を検討しましたが、地形が急峻であったことからタワーヤーダを主体とする架線系集材としました。

②実施結果

平成29年1月から伐採を開始し、4月には完了する予定でしたが、途中ラジキャリの故障等があり約1ヶ月遅れの5月中旬に皆伐作業が完了しました。

揖斐郡森林組合の協力を得て、データの収集と分析を行い、伐採～運搬までにかかった実行経費と販売収入等の算出を行いました。

計画と 実績の比較

区分	計画	実績
木材生産量	784㎥	744㎥
材質区分割合	A材65%、B材15%、CD材20%	A材21%、B材34%、CD材45%
木材生産費	7,018千円(8,952円/㎥)	6,191千円(8,318円/㎥)
(伐採～搬出費)	4,390千円(5,599円/㎥)	4,641千円(6,236円/㎥)
(運搬費)	1,827千円(2,330円/㎥)	1,209千円(1,625円/㎥)
(手数料)	801千円(1,022円/㎥)	341千円(458円/㎥)
労働生産性	7.5㎥/人	5.9㎥/人
木材販売収入	8,009千円(10,215円/㎥)	6,222千円(8,360円/㎥)
収益	991千円	31千円

面積 1.5ha スギ、ヒノキ45年生

▲写真－1

木材生産費は当初計画より若干削減できたものの、生産性は初めての試みでもあり、各作業工程での課題を改善しながらの作業であったことから5・9㎥／人と低くなってしまいました。

生産量はほぼ計画どおりでしたが、予想以上にCD材(小径木等)が多くA材(製材用)が大幅に減少したことから販売収入は当初計画と乖離がありました。

③検証結果

今回の皆伐作業について揖斐郡森林組合から聞き取り調査を行い、今後の作業に生かすための成果と課題について取りまとめを行いました。

○成果

【伐採～集材】

・伐採については集材作業を念頭に入れた伐採方向の決定を行い集材作業の効率を上げた。

・集材についてはタワーヤーダによる架線系集材により、フォワーダ等による小運搬を省略できた。

【造材～運搬】

・市場動向を把握し材価にこだわった造材ができた。

・作業が進むにつれて役割分担がうまく機能し、連携作業をスムーズに行うことができた。

・CD材については自社運搬にしたことからコスト削減ができた。

○課題

【事前調査】

・プロット調査の標準地が少なかったため(2箇所)、十分なデータが得られずA材の出荷量が大幅に低下し販売収入が減少してしまった。

【伐採～集材】

・全伐してから集材を行ったため伐採木が重なり作業効率が低下した。

・送電線によるラジキャリの無線障害が発生し作業が一時中断した。

【造材～運搬】

・仕分け作業時に作業効率を上げるため、B材での仕分けを優先した。

・造材時の作業スペースが狭く、少し離れた集積場所に小運搬したため作業効率が低下した。

・作業当初に集材、造材、小運搬の連携が悪く作業に遊びが出たり、詰まってしまうことがあった。

④今後の対応

・事前の森林調査を詳細に行うため、帯状プロットによる調査を行うなど販売収入の精度を上げる。

・技術面では県森連と協働した造材研修会の開催及び岐阜森林管理署と連携した労働生産性向上に向けた研修会を計画する。

・作業の遊び時間を減らすため、各森林技術者が全ての工程・作業に対応できるような多能化に取り組む。

再造林の実施

①実施結果

植栽コストの低減と獣害対策について三者で実施方法等の協議を行い、次の内容で実施することとしました。

◆低コスト造林及び獣害対策
- 苗木規格　スギ　コンテナ苗
- 植栽本数　2200本／ha（保安林指定施業要件）
- 植栽時期　6月
- 全木集材による地拵え省略
- 下刈り1回低減、雪起し省略
- 獣害対策　くわんたい単木保護

○先進地視察

獣害対策の効果やコスト面を把握するため郡上地域での先進地視察を実施し、防護柵と単木保護の比較検討の結果、保育コストの削減も期待できる「くわんたい」による単木保護としました。

○コンテナ苗研修会

コンテナ苗での植栽は初めてであったことから、下呂市の岐阜樹木育苗センターでの研修会を企画し、コンテナ苗の生産工程や植栽作業の演習、留意事項等について、当センターの川添所長さんからご指導をいただきました。

○現地検討会

植栽開始後に植栽方法の検討会を現地で開催し、川添所長さんからご指導をいただくとともに、獣害防止資材の設置も含めた効率の良い作業手順等について、森林組合の担当者、森林技術者、揖斐農林事務所で検討を行いました。

②検証結果

揖斐郡森林組合の協力を得て、データの収集と分析を行い、再造林にかかる実行経費と補助金収入等の算出、また各工程における課題や成果の整理を行いました。

▲写真－2

計画と 実績の比較

区分	計画	実績
植栽工	1.7ha コンテナ苗 1,350千円	1.5ha コンテナ苗 1,232千円
地拵え	省略	簡易地拵え 145千円
獣害対策	ツリーシェルター 2,825千円	くわんたい 2,448千円
補助金収入	4,175千円	3,311千円
収支	0千円	▲514千円

低コスト造林の補助事業で実施したため、基本的には負担金は発生しないはずでしたが、獣害防止対策の資材費が補助事業標準単価より高くなったことや林内の枝の処理のため簡易地拵えが必要になったことから負担金が発生してしまいました。

○成果

・現地検討会にて作業手順や役割分担について、いくつかのパターンを試し、最も効率の良い作業手順等を見つけることができた。

・コンテナ苗により6月の植栽が可能となりその後の生育も良好である。

・スコップ型のディブルの使用により、穴掘り時間が短縮でき作業効率が上がった。

○課題

・人肩運搬による苗木運搬のためコンテナ苗の培地が重く小運搬に苦慮した。

・苗木のコンテナからの抜き取りが予想以上に固く手間がかかった。

・当初、地拵えは全木集材のため省略するとしていたが、林内に予想以上の枝が散乱しており、簡易的な地拵えが必要となった。

③苗木成長量調査の実施

苗木の成長状況と獣害防止資材の有効性を把握するため、毎年、経過観察調査を行うこととしました。

◆苗木成長量調査
- 調査日
  平成29年11月30日
- 調査方法
  等高線上の緩斜面と急斜面に各50本抽出
- 調査内容
  根元径、苗高、植栽木の状況、獣害防止資材の状況
- 調査結果
  枯損3本
  （雑草木の侵入や根腐れ）
  奇形2本

植栽木の生育状況は概ね良好であり、獣害防止資材も2度の台風による強風を受けましたが倒壊したものはほとんどありませんでした。融雪後、獣害防止資材の耐雪性について調査を予定しています。

④今後の対応

今後は再造林の更なる低コスト化を図るため、伐造一貫施業による機械地拵えや架線や車両による苗木運搬について検討するとともに多雪地域での獣害防止資材の設置については、2本支柱あるいは太い支柱にするなどの検証が必要と考えています。合わせてニホンジカの捕獲についても検討したいと思います。

おわりに

今回は皆伐が初めての森林技術者が多かったことや事前調査の精度が低かったことなどから十分な収益を上げることができませんでしたが、今後は今回の課題を踏まえ、各工程での見直しや改善を図ることによるコスト削減への取り組みを推し進め、森林所有者が安心して主伐・再造林に取り組めるような体制づくりに努めていきたいと考えています。

また、主伐再造林の事業地を確保するため管内県有林でも主伐再造林を計画し低コスト化に向けた実証試験を行っていきたいと考えています。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0585-23-1111（代）
揖斐農林事務所林業課まで

国有林の現場から 18

ドローンの活用について

岐阜森林管理署　森林ふれあい担当　平杤 潤己

中部森林管理局では、平成29年度に各森林管理署に2台のドローンを導入しました。

岐阜森林管理署にも2台のドローンが導入され、ドローンは上空からの動画撮影が可能であり、森林・林業の業務において様々な活用が期待できます。岐阜森林管理署ではドローンを積極的に活用し、より効果的にドローンを活用する手法を検討するため、職員アンケートを実施しました。

これらの取り組みについて紹介します。

ドローンの活用方法

ドローンが最も得意とするのは上空からの動画撮影であり、その特性を活かす利用方法を署内の各担当者が検討しました。その結果、次の業務に活用しました。

①治山：崩壊地の状況を空撮。治山構造物の点検。事業説明用資料の作成

②管理：レクリエーションの森のPR用資料作成。貸付箇所の巡視

③森林育成：シカ柵等の破損状況の把握。シカの出没状況確認のための巡視

④経営：森林調査の精度を上げるための林況把握

⑤立木販売：立木公売箇所の販売促進用資料の作成

⑥土木：林道災害を空撮により把握など

また、こうして撮影した映像を活用して岐阜森林管理署の業務を紹介する動画を作成し、平成29年11月16日に下呂総合庁舎で開催した「100年先の森林づくり発表会」で紹介しました。

職員アンケートの結果と改善策

今後、署内でドローンをより活用するためにはどのような問題があるのか。課題を抽出するために職員へのアンケートを行いました。

その結果、「飛行申請の作成に時間がかかる」、「貸付地等の撮影許可が取りづらい」、「編集がしたくてもできない」などの問題が明らかとなりました。

そこで、すべての職員がアクセス可能な共有フォルダに、ドローンに関する情報共有のための仕組みを構築しました。これにより申請事例や撮影動画、画像などを共有することができ、ドローンを利用した職員だけでなく、他の職員も動画や画像を有効に活用することができるようになりました。

ドローンのさらなる活用に向けて

今年度はドローン導入の最初の年ということで、ドローンを使うことに重点を置きました。アンケートの実施でドローンの活用にはいくつかの課題があることがわかり、それに対応するために情報共有の仕組みを構築しました。

今後、この情報共有の仕組みを職員が積極的に活用し、色々な可能性を持った機材であるドローンをより活用できるよう努めるとともに、県や市町村等への普及を検討したいと思います。

▲伐採搬出作業を上空から撮影

▲導入されたドローン

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 050-3160-6090(代)
岐阜森林管理署まで

岐阜県山火事予防運動実施中

岐阜県では、山火事発生件数が多くなる3月から4月までの2ヶ月間を山火事予防運動期間とし、集中的に予防運動を実施しています。わたしたちの大切な財産である森林を守るため、次の点に注意して山火事を防止しましょう。

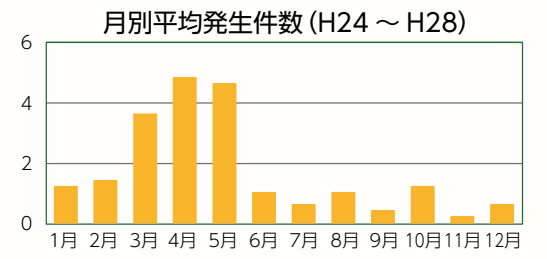
山火事予防のためのポイント

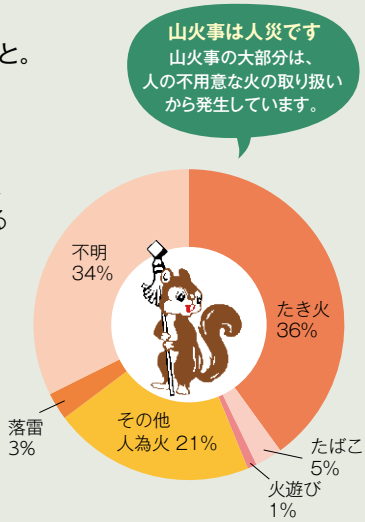
- 枯れ草等のある火災の起こりやすい場所ではたき火をしないこと。
- たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること。
- 風の強い時や空気が乾燥しているときにはたき火をしないこと。
- たばこは指定された場所で喫煙すること。
- たばこの吸い殻の火は必ず消し、投げ捨てはしないこと。
- 火遊びはしないこと。

平成29年度山火事予防ポスター
日本森林林業振興会会長賞
松田　彩花さんの作品（岐阜県）

山火事発生件数と発生原因

暖かくなる3月からゴールデンウィークの5月上旬は、山仕事や山菜採り、ハイキング等の目的により入山する機会が増えるため、山火事の発生件数も多くなります。





原因別発生率（H24～H28）

●大切な森林を守るため、山火事予防について皆様のご協力をお願いいたします。

【森林整備課　中川 貴登】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8490 森林整備課まで

野鳥のヒナを拾わないで！　第1回

春から初夏にかけては野鳥の子育てシーズンです。野鳥のヒナの多くは、羽が生えそろうとすぐに巣立ちの練習を始めます。はじめはうまく飛ぶことができず地面に落ちるものもいますが、近くに親鳥がいて見守っています。

野生動物にとって、人間が近寄ってくることは大きなストレスです。人間が保護しようとしてヒナに手を出すと、親鳥にとっては「誘拐」になってしまいます。地面に落ちているヒナを見つけても、静かにその場を立ち去りましょう。

また、自然に生きる野生鳥獣を勝手に飼うことは法律で禁止されています。

羽が生えそろっていないヒナを見つけたら?

近くに巣がある場合は、使い捨て手袋を使うか、ハンカチやティッシュペーパーなどでそっと包み、巣に戻してあげてください。発見場所が歩道の真ん中などヒナにとって危険な場所の場合は、近くの木の枝の上にのせる、草むらの中に置くなどして移動させてください。鳥をさわった後は、石鹸を使って手洗いをしてください。

【岐阜県動物愛護センター　岡野 司】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 0575-34-0050 岐阜県動物愛護センターまで

平成29年度 全国治山・林道コンクール 山地災害防止標語及び写真コンクールの表彰

平成29年度（一社）日本治山治水協会及び日本林道協会主催の「治山・林道コンクールの各部門」と（一社）日本治山治水協会主催の「山地災害防止標語及び写真コンクール」の岐阜県の受賞者は次のとおりです。おめでとうございました。（敬称略）

第33回民有林治山・林道工事コンクール
（一社）日本治山治水協会長賞
予防治山工事　岩田西一丁目
株式会社扇屋　河野 春男

日本林道協会長賞
道整備交付金事業　白尾～鷲見線
株式会社前田土木　前田 守廣

第40回林道維持管理コンクール
日本林道協会長賞
林道　大滝～大沢線
恵那市長　小坂 喬峰

第18回民有林治山木材使用工事コンクール
（一社）日本治山治水協会長賞
奥地保安林保全緊急対策事業「大谷」
中濃農林事務所　大坪 武司

第18回民有林林道木材使用工事コンクール
日本林道協会長賞
農山漁村地域整備交付金事業公共林道開設工事
可茂農林事務所　林務課

平成29年度山地災害防止標語コンクール
優秀賞【（一社）日本治山治水協会長賞】
「牙をむく いつものやさしい あの山が」
揖斐川町　佐野 守

平成29年度山地災害防止写真コンクール
優秀賞【（一社）日本治山治水協会長賞】
「治山事業は山間集落を守る」
岐阜市　上村 康人

【山林協会　瀬上 繁隆】

林道　大滝～大沢線

道整備交付金事業　白尾～鷲見線

予防治山工事　岩田西一丁目

「治山事業は山間集落を守る」

農山漁村地域整備交付金事業公共林道開設工事

奥地保安林保全緊急対策事業「大谷」

伐採及び伐採後の造林の届出制度のお知らせ

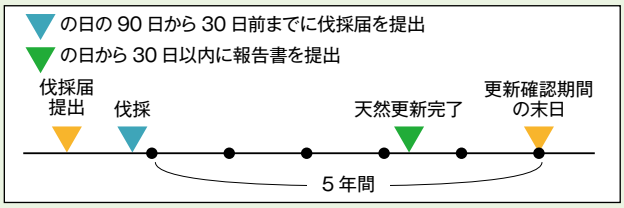
森林の立木を伐採するときには、事前に「伐採及び伐採後の造林の届出書」(以下、伐採届)の提出が必要ですが、平成29年4月1日以降に提出された「伐採届」に基づいて立木を伐採(主伐)した場合には、「伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書」(以下、状況報告書)を提出することが義務づけられています。

Q.届出・報告の対象となる森林は?

対象となる森林は、地域森林計画の対象となっている民有林(保安林を除く)です。
なお、保安林の伐採や林地開発を行う場合は、手続きが異なりますのでご注意ください。

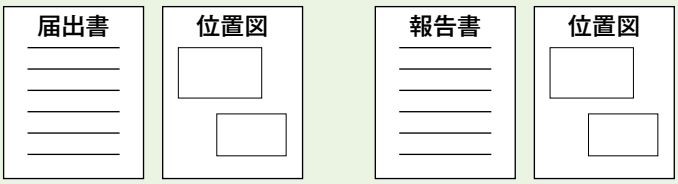
Q.誰が提出するの?

・伐採届は、森林所有者もしくは伐採をする(権原を有する)者が提出します。
伐採をする(権原を有する)者と造林をする(権原を有する)者が異なる場合は連名で提出します。
・状況報告書は、造林をする(権原を有する)者が提出します。



Q.いつ、どこへ提出するの?

・伐採届は、伐採を開始する日の90日から30日前まで
・状況報告書は、造林(天然更新)が完了した日から30日以内
いずれも対象森林の所在する市町村が提出先となります。



Q.添付書類は?

伐採届及び状況報告書には場所の位置図を添えてください。

【林政課　平塚 祥吾】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8471 林政課まで

森林・林業関係イベントカレンダー(4月)

林業者向け

開催日	行事名等	内　容　等	開催場所 問い合わせ先
4月17日㈫	**刈払機取扱作業者安全衛生教育**	●講習時間:　9:30~15:30 学科 15:30~16:30 実技 ●申　込:開催日の10日前まで ●受講料:11,340円(本代含む)(振込み) ●定　員:30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195
4月18日㈬~ 4月19日㈭	**伐木・チェーンソー作業従事者特別教育**	●講習時間:　18日 8:30~17:40 学科 19日 8:30~17:30 実技 ●申　込:開催日の10日前まで ●受講料:18,900円(本代含む)(振込み) ●定　員:30名(定員になり次第締め切ります。)	18日(学科) ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 19日(実技) 岐阜県森連岐阜林産物共販所 (関市倉知字物見山4660-16) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195
4月24日㈫~ 4月27日㈮	**フォークリフト運転技能講習** 受講資格: 自動車普通運転免許所持者	●講習時間:1日目　8:30~16:30 学科 16:30~17:30 学科試験 2~4日目 8:30~17:30 実技・試験 ●申　込:開催日の20日前まで ●受講料:31,860円(本代含む)(振込み) ●定　員:30名(定員になり次第締め切ります。)	学科:伊自良中央公民館(山県市大門912-1) 実技:ぎふ農協旧伊自良共選場(山県市洞田127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192　FAX 058-201-1195

コラム　COLUMN

「ぎふ森林文化センター」では、12月に火災を想定した避難訓練と初期消火訓練の後、センター1階に設置してあるAED(自動体外式除細動器)を効果的に使用するための講習を行いました。

心肺が停止している人の救命処置について、消防署員から一通りの救護方法の説明を受けた後、女性職員が第1発見者となりAED講習が始まりました。

倒れている傷病者を見つけたら、先ず意識があるかを確認し、周りの人に協力を求めて、消防署に通報する人、一緒に心肺蘇生する人を集めます。

心臓マッサージ(胸骨圧迫)は、胸部を5cmほど沈む強さで1分間に100回くらい、童謡の「うさぎとかめ」の「もしもし亀よ　亀さんよ~」のリズムで勢いよく30回を2名交替で行います。

その後、AEDの電源を入れて操作します。AEDが次の動作を音声説明してくれるので、それに沿って胸骨圧迫を行うなどしながら救急車の到着を待つと説明を受けました。

心肺停止に陥ったあとの除細動が1分遅れるごとに、救命率は7~10%ずつ下がっていきます。使用法を覚えておくと、突然のけがや病気で倒れた人が脳の障害を残さずに社会復帰できることに貢献できます。

「森林のたより」編集委員　山下 篤志

4月号予定

4月1日発行

イベント情報
連載
●山の歳時記(152)
●山のおじゃまむし(321)
清流と森と親しむ
●森林と人を活かす知恵(64)
木と親しむ
●岐阜県の公共木造建築(62)
清流の国ぎふ森林・環境税
わがまちの森林・環境行政(16)
森林・林業技術
●研究・普及コーナー
市況情報
その他

木材市況　県森連　岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位：円（1㎥当たり）

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1648回 岐阜共販所 2月13日	すぎ	3 m	16～18㎝	12,500	―	単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格
		4 m	16～18㎝	11,400	―	
			20～22㎝	13,500	―	
			24～28㎝	12,700	19,600	
			30㎝以上	12,500	23,000	
		6 m	16～18㎝	13,500	―	
	ひのき	3 m	16～18㎝	17,000	―	
			20㎝以上	15,800	―	
		4 m	16～22㎝	16,800	―	
			24～28㎝	14,500	―	
			30㎝以上	16,500	―	
		6 m	16～18㎝	23,000	―	
第1225回 飛騨共販所 2月7日	すぎ	3 m	16～18㎝	12,000	―	
		4 m	24～28㎝	12,000	―	
			30㎝以上	12,000	40,000	
	ひのき	3 m	16～18㎝	16,500	―	
		4 m	20～22㎝	16,000	―	
			30㎝以上	16,000	50,000	
		6 m	16～20㎝	―	―	
	まつ	4 m	24～28㎝	9,000	―	
			30㎝以上	10,000	18,700	
	ひめこ	4 m	24～28㎝	16,000	―	
			30㎝以上	16,000	26,000	
		5 m	30㎝以上	―	31,300	
	くり	4 m	24㎝以上	20,000	―	
第1558回 東濃共販所 2月8日	すぎ	3 m	16～20㎝	12,700	13,400	
		4 m	22～28㎝	12,900	18,000	
			30㎝以上元	13,400	65,000	
	ひのき	3 m	16～20㎝	17,200	29,000	
			22～28㎝	14,900	30,000	
			30㎝以上元	20,000	36,000	
		4 m	13㎝以下	9,000	―	
			22～28㎝	15,200	30,000	
			30㎝以上元	20,000	200,000	
		6 m	18～20㎝	27,600	30,400	
	まつ	4 m	22～28㎝梁	7,500	―	
			30㎝以上元	10,000	―	

木材市場

全般的に横ばい（弱含み）で推移

【商況】

スギ4m元木良材、品薄により高値。ヒノキ並材4m土台取り強含み、造材は4m（16～22㎝）が有利。ヒノキ二番中目材は荷動きも少なく、弱含み。製紙パルプ向け針葉樹2m、3m、4mかなり不足。製紙パルプ向け広葉樹原木は受け入れ制限となっており、予定される方は共販所担当者まで一報ください。（岐阜）

スギ良材の後押しもあり活発な応札となった。スギ並材3m、4m（16～24㎝）不足。スギ4m元木、二番ともに中目、中目上、不足しており強含み。需要期を迎えヒメコ、マツ、応札多く人気。広葉樹は良材は相変わらずの人気で強気。（飛騨）

ヒノキ元木、良材（高齢材及び枝打材など（特殊材））2m、3m、4m、6mは応札も多く横ばい。ヒノキ並材は3m、4mとも（16～28㎝）横ばい、6m（16～20㎝）は価格安定。スギは全般的に品薄、4m元木、良材は応札多くやや高値、二番玉並材3m、4mとも（16～28㎝）横ばい。枝虫材等、欠点材は売りにくい。（スギについては、県内新工場稼働（長良川木協）につき今後原木の流れが良くなるが、荷不足感が強い。）（東濃）

製品卸売標準価格（1月期）

（単位：円）

樹種	用途	寸法（mm） 長	巾	高	等級	m³当り価格	（本（枚）単価）	前月比較
スギ	柱	3000	105	105	1等	65,000	（ 2,150）	→
	間柱	3000	105	30	1等	65,000	（ 614）	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	（ 2,867）	→
	柱	3000	120	120	特等	60,000	（ 2,592）	→
		3000	120	120	（東濃桧）特等	65,000	（ 2,808）	→
		6000	120	120	特等	120,000	（10,368）	→
Wウッド集成材	柱	3000	105	105	国産5層	59,000	（ 1,950）	→
		3000	120	120	国産5層	60,000	（ 2,580）	→

※日刊木材新聞調べ（名古屋標準相場　全てKD材）

外材市況（1月期）

1㎥当り（価格単価：100円）

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	310	米栂	ヘム（アラスカ産）	299
	コースト（目荒）	320	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場（径級は30㎝上、米松コーストのみ大阪相場）

木材用語一口メモ

幅はぎ材（はばざい）

「はぎ」は、漢字で「接ぎ」と書きます。幅の狭い木材を幅方向に接着して幅の広い板を得る技術を幅はぎと呼び、この技術で作られた材料を幅はぎ材と呼びます。

（参考）日刊木材新聞社　木材・建築用語辞典